

令和4年度 宮崎県立都城きりしま支援学校 学校関係者評価書

【4段階評価】 4 十分満足できる 3 ほぼ満足できる 2 やや物足りない 1 改善を要する

評価項目	評価指標	学校自己評価結果	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
教育活動	1 児童生徒の実態に即した教育課程の編成と教育計画 2 分掌部や学部間の連携、円滑な校務運営 3 生きる力を育くむための教材教具の開発や学習環境の整備 4 集団生活への参加、友達と協力する態度や能力の育成 5 保護者への教育方針や教育活動の伝達 6 好ましい行動の仕方を身につけさせる適切な指導 7 児童生徒や保護者・地域社会のニーズに応える教育 8 児童生徒理解に立った指導	◎教員間での情報交換や連携による学級運営 ●タブレット端末を使った授業実践の充実と共に情報モラルに対応した授業や指導の充実	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で活動を制限される中、感染症対策を工夫しながら、行事を実施され、保護者の見学の機会や地域との交流をしようと努力されていた。</li> <li>実習・進路関係については生徒の希望に添って何度も計画をし、実施していた。卒業後の生活に必要な場の確保のためのグループホームでの実習など、新しい取組をされた。</li> </ul>
連携・支援	9 保護者や関係機関との連携、見直しをもった支援 10 学級通信、連絡帳、懇談などによる保護者への連絡 11 共生社会を目指した学校・地域づくりの推進 12 障がいや個性に応じた進路・就業支援 13 地域センターとしての相談・連携・支援機能の充実	◎保護者との連絡や教師間での連携による学級運営、進路指導 ●学校間交流や居住地校交流等の今後の在り方についての検討	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学部の児童数が増加し、障がい特性も多様化し、保護者アンケートからも様々なニーズや相談があることがうかがえる。学部ごとに情報交換や連携を行い、取り組んでいる。</li> </ul>
研修	14 研究や研修を通じての専門的 指導力の向上 15 職員のニーズに応じた研修、教育間の相互支援	◎本校児童生徒のニーズに合わせた研修の実施 ●障がい特性についての研修の充実	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍ではあったが、Zoom 等を活用し、遠方での会議や研修への参加し、情報や知識を得る機会が増えた。今後も障がい特性についての研修の充実を望む。</li> </ul>
生活安全	16 児童生徒の健康な心身、基本的生活習慣の確立 17 交通マナー、社会規範意識等の安全指導の徹底 18 安全面に留意した準備や対応 19 緊急時対策の整備と対応の充実	◎感染症対策に関する共通理解（校内における感染症拡大防止） ●肢体不自由の児童生徒が安全に移動できる施設の充実	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する児童施設と連携し、命の安全を確保している。</li> <li>日々の連携や必要に応じたケース会の開催で、児童生徒のよりよい成長につながることが出来ていると思う。</li> </ul>
その他	20 諸会議、校内研修、課題研の効果的実施 21 児童生徒や職員の人権保護 22 会議の精選、時間短縮、事務処理の軽減化 23 児童生徒は登校を楽しみにしているか 24 PTA活動の活性化、保護者の積極的参加 25 施設・設備等、快適で安全な教育環境 26 個人情報管理、必要な情報の提供	◎個別の面談期間や学期末整理週間の設置による保護者との話合いの充実 ●教室や体育館等、施設設備の狭隘化への対策	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートからも施設整備の改善が求められている。児童生徒にとって快適で安全な教育環境を整えるために、学校、保護者、関係者が連携して現場の実情を伝える必要がある。</li> </ul>

